

# 令和2年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第5号(8月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和2年7月23日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○8月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		7月の発生量 (平年比)	7月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
カンショ	① ナカジロシタバ	多	↗	多	平年の発生量の推移(↗)
	② イモキバガ	やや多	↗	多	平年の発生量の推移(↗) 今後1か月の気温が平年より高い見込み
（温州かんきつ）	① かいよう病	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	② 黒点病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	③ そうか病	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	④ アブラムシ類	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	⑤ ミカンハモグリガ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	⑥ ハダニ類	並	↗	並	今後1か月の気温が平年より高い見込み
（タンカン）	① かいよう病	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	② 黒点病	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	③ そうか病	(発生なし)並	→	並	今後1か月の降水量が平年並の見込み
	④ アブラムシ類	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	⑤ ミカンハモグリガ	やや少	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	⑥ ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○8月の発生予報つづき（沖縄群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		7月の発生量 (平年比)	7月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
マン ゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	③ ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
ヘ チ マ	① ベと病	多	→	多	平年の発生量の推移(→)
	② うどんこ病	多	→	多	平年の発生量の推移(→)
	③ ハモグリバエ類	多	→	多	平年の発生量の推移(→)
	④ ヒメクロウリハムシ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	⑤ ミナミキイロアザミウマ	並	→	並	平年の発生量の推移(→)
オ ク ラ	① うどんこ病	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	② フタデンミドリヒメヨコバイ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移(↗)
	③ アブラムシ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	④ チョウ目幼虫 (オオタバコガ除く)	(発生なし)並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	⑤ オオタバコガ	(発生なし)並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さ と う き び	ツマジロクサヨトウ	7月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されている。定植時に粒剤の株元散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
か ん き つ	果樹カメムシ類	病害虫防除員報告（本島北部）によると、本種が多発生であった。幼果では落果させ、肥大中期以降の果実では変形や褐変し、障害果を生じるため、早期発見・防除に努める。
マ ン ゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

# 令和2年度 宮古群島 病害虫発生予報 第5号(8月予報)

○向こう1か月の天候の見通し(令和2年7月23日発表:沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○8月の発生予報 (宮古群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		7月の発生量 (平年比)	7月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移(↗) 新梢の発生量が増加するため
	① マンゴーハフクレタマバエ	多	→	多	平年の発生量の推移(→) 新梢が発生量が増加するため
	② ハダニ類	やや多	↘	やや多	平年の発生量の推移(↘)
オクラ	① うどんこ病	並	-	-	
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	並	-	-	
	③ アブラムシ類	並	-	-	
	④ チョウ目幼虫 (オオタバコガを除く)	(発生なし)並	-	-	

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※(発生なし)は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量(現況)と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫(宮古群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	ツマジロクサヨトウ	7月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲されている。定植時に粒剤の株元散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

# 令和2年度 八重山群島 病害虫発生予報 第5号(8月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和2年7月23日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

○8月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		7月の発生量 (平年比)	7月からの増減	8月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
さとうきび	① バッタ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
	② チャノキイロアザミウマ	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
マンゴー	② マンゴーハフクレタマバエ	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	③ ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移(↘)
オクラ	① うどんこ病	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移(→)
	② フタテンミドリヒメヨコバイ	多	↘	多	平年の発生量の推移(↘)
	③ アブラムシ類	(発生なし)並	↗	並	平年の発生量の推移(↗)
	④ チョウ目幼虫 (オオタバコガを除く)	(発生なし)並	→	並	平年の発生量の推移(→)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	ツマジロクサヨトウ	7月のフェロモントラップで本種雄成虫が捕獲され、ほ場の調査でも幼虫が確認されているため、定植時に粒剤の株元散布を行う。なお、粒剤は効果が出るまでに数日かかるため、ツマジロクサヨトウを発見した場合は、即効性のある農薬を散布する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

向こう1か月の天候の見通し  
 沖縄地方（7月25日～8月24日）

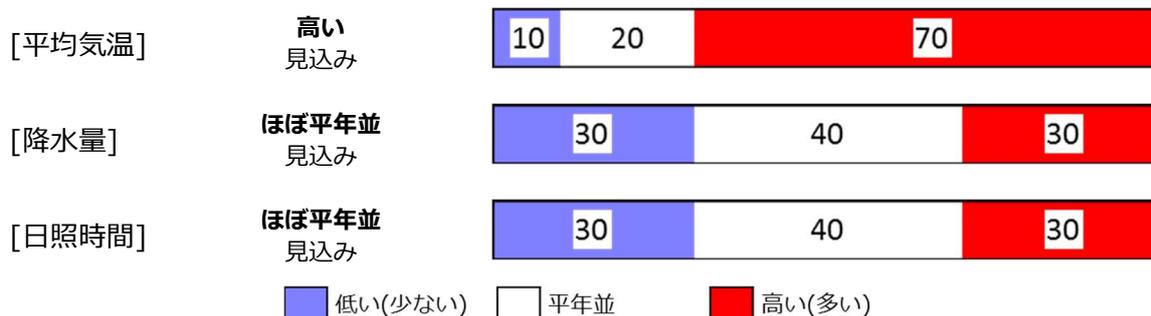
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は高い見込みです。期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。
- 向こう1か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並でしょう。



気象庁マスコットキャラクター  
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

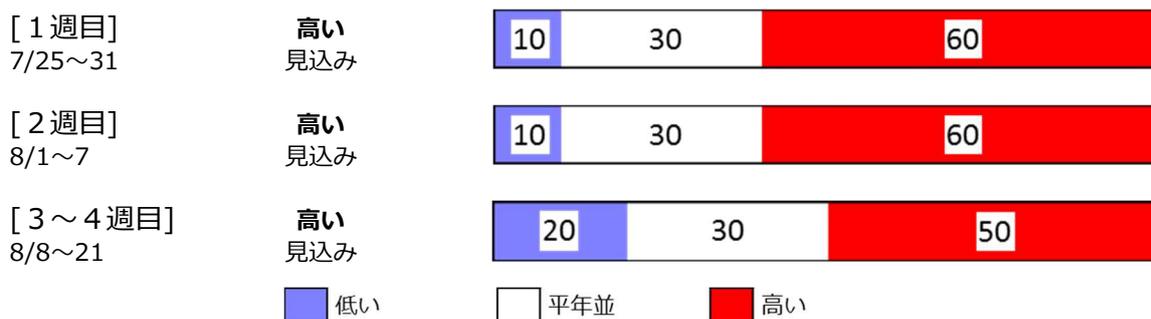


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.1～+0.1℃	平年比：70～116%	平年比：96～104%
那覇	28.7～29.0℃	119.9～215.0mm	184.4～209.2時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.2～+0.3℃	平年差：-0.2～+0.2℃	平年差：-0.1～+0.2℃
那覇	28.7～29.3℃	28.6～29.2℃	28.6～29.0℃

- ※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点平均値です。
- ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。

詳しくは下記へお問い合わせ下さい



## 沖縄県病害虫防除技術センター

ホームページアドレス

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>

本 所 〒902-0072 那覇市字真地123

TEL 098-886-3880 FAX 098-884-9119

宮古駐在 〒906-0012 宮古島市平良字西里2071-40(農研センター宮古島支所内)

TEL 0980-73-2634 FAX 0980-72-6474

八重山駐在 〒907-0003 石垣市平得地底原1178-6(農研センター石垣支所内)

TEL 0980-82-4933 FAX 0980-83-1157